

感じとしては、卒業にはこの単位とこの単位とこの単位が必要で、その内のこの単位については誰それの授業に全部出席するか何々テストに合格するか文科省認定自習ソフトのいずれかの終了証を取得する必要がある、この単位については・・・、みたいな感じだ。従来の校舎によって特徴付けられる大学というものは、不動産店舗を持つ百貨店の様なもので、そこ一箇所に通学するだけで卒業に必要な全ての単位が揃う、という合理性を持つ。IT があまり発達していない時代においては百貨店が合理的だった。この商品があっちで買い別の商品はこっちで買う、という事では不便だ。しかし、ほとんどの商品はインターネットで注文出来る現代においては、商品ごとに異なるアドレスで販売されている事はさして不便ではない。その事は利用者の身体の移動距離を増加させないからだ。同じ原理で、大学の単位取得についても現在では、単位ごとに異なるアドレスで取得出来る様に制度を作り変える事が Education Technology の進歩を誘発するのではないか。